

平成 29 年第 2 回市民福祉委員会会議録

平成 29 年 6 月 12 日

第 2 委員会室

開 会： 午後 1 時 30 分

委員 長 西 尾 努

副委員 長 後 藤 康 司

2 番委員 柘 植 孝 彦、3 番委員 遠 山 信 子、4 番委員 鶴 飼 伸 幸、5 番委員 堀 井 文 博

委員 長 ; 定刻になりましたので、只今から平成 29 年第 2 回市民福祉委員会を開会いたします。
本日の会議は、去る 6 月 1 日開催の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は別紙の次第書の順序で行いますので、よろしくお願ひします。それでは始めに市長さん、ご挨拶をお願いいたします。

市 長 ; みなさんこんにちは。今日は第 2 回の市議会の市民福祉委員会でございます。お集まりくださいまして本当にありがとうございます。きょうは一つだけでございますので、その前に少しだけお話しさせていただきます。午前中も少しご報告いたしましたが、先週僕、火・水・木と 3 日間、全国市長会ということで東京にありました。市長会の時に出された国に対する要望というのがあったので、まずはその概要だけお話しします。一つ目は震災の復興、そして津波や地震、それから原子力に対する防災の対策ですね。こういった要望が出されています。二つ目が地方創生それから分権型社会の実現。これが二つ目の要望です。三つ目の要望は、都市税財源の充実強化ということでございます。そして四つ目が持続可能な社会保障制度の構築。ということで、こういった大きく四つの要望が出されました。これに加えて、特別提言という形で市長会として国の方に提言された内容がございます。それが、土地利用行政のあり方に関する特別提言。特に超高齢社会、そして人口減少社会に入ったことに鑑みて、一元的な土地利用行政の実現に向けての提言ということでございます。具体的には、例えば農振の除外だとか都市計画の見直し。こういったものは、今まで県だとか国の許認可であったのですけれども、これを市町村に一元的な管理をまかせたらどうだと、こうしないといつまで経っても人口減少は止まらないと、こういう考え方でございます。こういった考え方が総務省の方に出されていますので、また、これに対する答え若しくは考え方の整理っていうのが示されるであろうと思います。それが一つです。それから、6 月 7 日水曜日でしたけども、午後から時間があって地元の皆さんと一緒に国への要望をさせていただきました。一つは新丸山ダムそれから国道 418 の要望それから瑞浪恵那道路の要望ということで、議会の方からも議長さん、それから特別委員会の委員長さん、それから地元市会議員の柘植先生にもお越しいただきまして、総勢で飯地からは 22 名の方にお越しいただきました。大変に熱心にご要望いただきまして、政務官含め国の国交省関連の皆さんに、それから地元選出の国会議員の皆さんにご要望させてい

いただいたということですので、ここでご報告をさせていただきます。以上でございますが、本日市民福祉委員会1件の案件でございます。どうぞ、慎重審議のほどよろしくお願いいたします。以上です。

委員長 ; ありがとうございます。続きまして議長さんご挨拶をお願いします。

議長 ; 改めまして、こんにちは。第2回の市民福祉委員会ご苦労さんです。いま市長さんから話がありました、7日の日東京へ行って参りました。商工会議所の会頭さんも1日お付き合いいただきました。参議院会館から始まり、自民党本部、国交省、財務省と4箇所回って、1日に1万3000歩歩きました。人生で一番歩いた日だと思っております。くたぶれた分だけ要望を聞いていただけたと思っております。きょう1件です、よろしく申し上げます。

委員長 ; ありがとうございます。それでは、議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めていきます。なお、発言につきましては、委員長の許可を得て、必ずマイクの赤いランプが点灯していることを確認し、マイクに向かって発言するようお願いいたします。

委員長 ; それでは、**議第51号 指定管理者の指定について**を議題とします。本件に対する質疑を行います。ご質疑ありますか。

委員長 ; 5番委員。

5番委員 ; いま現在、ひまわりの職員と行政との意向を聞き取り調査だとかやってみえると思うんですが、もちろん職員の意向を重んじて進めていかなければいけないと思っておりますが、指定管理を受けた公益社団法人の地域医療振興協会との間での、例えば職員が意向として、ひまわりがゼロになるということは無いでしょうけど、そういう中で指定管理を受けろ。というような、その色んな極端な話にならない、いろんなそういう意味では、振興協会とのコミュニケーションを行政も図っておるのかどうか。まずその点。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; いまの点につきましては、指定管理者の候補者と打ち合せをしながら進めていきたいというふうに考えておりますし、職員の処遇・意向においては、市の総務課による個人面談の後に、法人による個人面談を希望者にはやっていただいた後に、意向を決めていきたいというような事で進めております。

委員長 ; 5番委員。

5番委員 ; いつ頃までに、そのような方向で日にちというのはあるのですか。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 意向は、9月の末までにまとめたというふうに考えております。

委員長 ; よろしいですか。では、次に3番員。

3番委員 ; いまの質問に、いま、ひまわりの職員さんは市の職員さんが何人で、非正規職員さんは何人みえますか。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 市の職員は43名、臨時職員22名になっております。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; いま、堀井議員が質問してくださって、私も同感の所があるんですが、今度は丁寧に調査して下さるという事なので、引き続き希望者はすべて無条件で雇用を引き継いでもらえるか。また、特に市職員の希望等もあると思いますが、その事をいま9月までにしていただけるという話なので、有り難いなというふうに思っています。そして、更に市の職員で勤務している者については、ひまわりを換わって他の部署に行きたいという者もいると思いますので、そういった時にはまた考慮を十分していただけるかという事と、それから、退職する人もいると思いますので、その人については退職金等については多少割り増し等検討していただけるかなと思いますがいかがですか。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 退職金につきましては、市の職員につきまして総務課の方で計算をして、普通退職ではなしに、整理退職っていう所の率で上乗せした分での退職金の提示という事で伺っておりますので、そのようになると思います。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; ありがとうございます、もうひとつ、これはお答えが難しいかも知れませんが、ひまわりは、大変恵南地域にとっては有り難い老健でした。特に一人の介護者に対しても、医師と介護人、栄養士、看護婦等がこの人は次どうしたらいいのかと、入所期間が3ヵ月過ぎたけれども、この次どうしたらいいのかとか、そういう検討をよくしていただいたり、介護が2になったんだけど、いまの家ではとても看ることができない家庭的にも大変だから考慮しよう。というような大変親切な丁寧な会議を持たれたり介護水準も大変高かったと思います。そのような介護水準を引き続き維持してもらえませんかお聞きします。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 現在のひまわりがやっている運営状況につきましては、指定管理者の方で同じように引き継いでいただくっていう事で伺っておりますし、ひまわりの入所者の処遇につきましては毎月の定例の会議の中でその辺を考慮しながら対応をさせていただきますのでよろしくお願いします。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 指定管理者になってもそのまま引き継いでいただけるという事ですね。ありがとうございます。

委員長 ; 他にありませんか。

(「なし。」と声あり)

委員長 ; ご質疑なしと認め、質疑を終結致します。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし。」と声あり)

委員長 ; 討論はありませんので、只今から採決を行います。

議第51号 指定管理者の指定については原案のとおり可決すべきものに賛成の諸君の挙手を求めます。

(全 会 一 致)

委員長 ; 全会一致であります。よって「**議第51号**」は原案のとおり可決すべきものと決しま

した。

委員長 ; 以上で予定の議題を終了しました。
最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一任
いただくことに、ご異議ありませんか。
(「異議なし。」と声あり)

委員長 ; ありがとうございます。それではこれもちまして、平成 29 年第 2 回市民福祉委員
会を閉会致します。ご苦労様でした。

午後 1 時 41 分閉会

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 市民福祉委員長 西尾 努